

2 地域産業を育むまち

*** 重点 ***

項目	主な取り組み
新たな価値を生む産業支援	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致活動の強化 ○スタートアップ・起業支援の推進 ○本気で頑張る産業支援事業 ○農林業・商工業・観光業の連携強化
持続可能な農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○農業者等機械・設備導入支援 ○担い手の育成支援 ○水路・農道等の農業施設整備支援
デジタルで発信する観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSや動画など多様なインターネットメディアを活用したPR活動の強化 ○商工会・観光協会との連携強化

—— 現状と課題 ——

農林業

農業

農業は、農畜産物の輸入自由化、国の農業政策の抜本的な見直し、農業生産物の安全確保、消費者ニーズの多様化、農業に係る経費増加、米価と生産量のバランスなど、農業情勢の変化への対応が非常に厳しい状況にあります。

本町の主産業は農業で、恵まれた自然環境の中でブランド米、和牛、白ねぎ、ブロッコリー、キャベツ、すいか、白菜などの多彩な特産品が生産されており、高い評価を得ています。

また、主要幹線道路、鉄道等に沿った地域などに町花である菜の花やレンゲ、ヒマワリの作付けを促し、地力の維持・増進や観光資源として景観形成を促進しています。

さらに、大山ガーデンプレイスや大山望を交流の拠点として、リゾートホテル、別荘地、ゴルフ場、ペンションなどの主要観光施設と農業が連携した地域内流通システムの確立を目指しています。

一方で、農家の高齢化や担い手不足を背景に農家数及び農家人口は一貫して減少傾向にあり、これに伴い、経営耕地面積も減少しています。また、経営規模が零細であるうえ、隣接する米子市への通勤が容易であることから、依然として兼業農家の割合が大きくなっています。

このほか、イノシシを中心とした有害鳥獣による農林業被害への対応も引き続き必要となっています。

Ⅲ 基本計画

2 地域産業を育むまち

農地

本町の農地面積は 1,570ha で町全域の 11.3%を占めています。一方で、後継者不足による農地の維持管理への不安や遊休農地や荒廃農地の増加傾向にあります。農地には自然の保水力があり、水源かん養や地球の温暖化防止、また、農村景観の観点からも維持保全に努めていく必要があります。

畜産

畜産・酪農については、小規模飼育農家の廃業等により農家数は減少傾向にありますが、専業で飼養頭数を増頭し、規模拡大する農家もあります。特に、町内の和牛については、近年、和子牛せり市でも比較的高値で取引されていることから、引き続き伯耆町和牛のブランド化を図る必要があります。

林業

本町の森林面積は町総面積の約 7 割を占め、水源かん養や山地災害の防止など、生活に密着した非常に重要な役割を果たしています。

しかし、国産材需要の低迷、経営コストの上昇、林業従事者の減少及び高齢化により林業生産全体が停滞し、間伐、保育等の整備が適正に実施されていない森林の増加や森林病虫害による松枯れ等が増加しています。また、手入れされていない竹林が周辺農地等へ侵入する問題への対応も必要な状況となっています。

商工観光

観光

本町及び本町の周辺には、平成 27 年度に日本遺産に認定された国立公園大山、県立フラワーパーク「とっとり花回廊」などの県内有数の観光スポットがあり、本町へは、年間 60 万人を超える観光客が訪れています。また、町内には 3 つのゴルフ場と大型リゾートホテル、ペンション村、キャンプ場などのリゾート施設や柘水高原などの観光資源が官民により整備されています。また、米子道のインターチェンジ（溝口インターチェンジ、大山高原スマートインターチェンジ）もあり、大山周辺観光の広域的な玄関口としての機能を果たしています。

しかし、柘水高原スキー場はスキー離れにより利用客が減少している状況にあります。

これらの現状を踏まえ、伯耆町を魅力ある観光地にするためには、広域的な視点からの観光推進を図る必要があります。観光地域づくりのかじ取り役である大山山麓・日野川流域観光推進協議会や各協議会、実行委員会等と連携しながら、観光資源活用の新たな展開や新たな体験・ツアーメニューの開発、ツアーガイドの育成により、着地型観光を推進する重要度が増しています。

商工業

商業については、商工会に加盟する商店等が 172 店あります。伯耆溝口駅周辺には従来からの小型商店により形成された商店街がありましたが、近年は後継者不足や消費動向の変化により、商店数が減少しています。一方、大殿地区では、複合型商業施設「フレスポ伯耆」の整備を契機に、近隣に新たな出店もあり、買い物の拠点としての役割を果たしています。

工業については、製造業を中心にした企業活動が行なわれ、地域の雇用の場となっており、大山をバックとした景観やアクセス性の良さ（大山高原スマートインターチェンジ、溝口インターチェンジ）により、町内進出を検討する企業もあります。また、町内には空き工業団地もあることから、地域にマッチした企業誘致等により、産業と連携した地域活性化の検討を進めていく必要があります。

———— **施策の指針と主な取り組み** ————

課題解決に向けて、以下の施策・取り組み等を行っていきます。

施策の指針
○農業生産体制の確立
○鳥取和牛の推進など豊かな食の魅力づくり
○農畜産物の生産、担い手農家への支援
○スマート農業の推進
○広域連携による観光振興と商工業の振興
○企業誘致による地域活性化

Ⅲ 基本計画

2 地域産業を育むまち

分野		主な取り組み
農林業	農業	<ul style="list-style-type: none"> ○集落営農等の共同体が実施する大型共同利用機械・設備の導入支援 ○担い手農業者等への機械導入支援 ○機械、施設等導入に対する国、県支援事業の展開 ○農業施設の整備（農道・水路） ○有害鳥獣被害対策 ○県営土地改良事業 ○認定農業者の支援・育成 ○中核的農業経営体の育成 ○認定新規就農者、親元就農研修生の支援・育成、及び機械・設備等導入支援 ○堆肥を活用した土づくりの推進 ○景観形成作物の栽培促進支援事業 ○環境保全型農業直接支払事業 ○農地、水などの地域資源の保全 ○農産物の販売拠点となる施策の支援
	農地	<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地の解消及び発生の防止 ○中山間地域直接支払交付金事業 ○農地流動化の推進 ○多面的機能支払交付金事業 ○農地中間管理事業の活用
	畜産	<ul style="list-style-type: none"> ○優良雌牛導入等の支援 ○伯耆町和牛ブランド化支援事業 ○大滝放牧場管理事業 ○和牛放牧事業推進による省力化 ○堆肥センター管理事業 ○自給飼料生産体制整備の推進 ○畜産物の販売拠点となる施策の支援
	林業	<ul style="list-style-type: none"> ○森林保全の地域活動を支援する交付金事業 ○森林保全の意識啓発 ○林道の整備 ○県営事業による治山の推進 ○松くい虫被害対策（農薬の空中散布事業、伐倒駆除事業、樹種転換事業） ○間伐・枝打ち・植林等の森林施策に対する支援 ○森林経営管理制度の推進（意向調査、経営計画策定） ○林業事業者への活動支援 ○林業労働者の確保と就労条件の改善支援 ○森林整備地域活動の支援 ○竹林整備の支援

Ⅲ 基本計画

2 地域産業を育むまち

分野		主な取り組み
商工 観光	観光	<ul style="list-style-type: none"> ○広域観光の推進 ○観光協会を中心とした観光推進体制の機能強化 ○持続可能な国内外の観光客の誘客に向けた受入体制の充実 ○観光PRと販路拡大の推進 ○着地型観光の推進 ○国立公園「大山」の活用 ○溝口インターチェンジと大山高原インターチェンジの利用促進 ○既存観光施設の利活用推進（大山ガーデンプレイス、大山望、観光・スキーリフト、樹水フィールドステーション） ○観光従事者のスキルアップに向けた研修 ○SNSや動画など多様なインターネットメディアを活用したPR活動の強化 ○デジタル・紙媒体を活用した多言語観光プロモーションツールの整備
	商工業	<ul style="list-style-type: none"> ○商工会の活性化による指導体制の強化 ○補助事業による商工会の支援 ○農商工観の連携強化による地域振興（農業者団体・商工会・観光協会・行政） ○商工会を通じた事業継承のための支援 ○地域資源やデジタル技術を活用したスタートアップ・起業支援の推進 ○本気で頑張る産業支援事業 ○小規模事業者等経営改善支援 ○誘致企業を中心とした地元企業との連携強化 ○工業団地、サテライトオフィスへの企業誘致

KPI（重要業績評価指数）

指標	指標説明	現状	目標
認定農業者数（経営体数）	農業経営基盤強化促進法に基づき町が認定した農業者数（経営体数）※認定農業者（広域認定、法人も含む）	56 経営体 (R7.4月時点)	61 経営体 (R12) [1 経営体増/年度]
生産組織数又は集落営農組織数（参加農家数）	農業経営基盤強化促進法に基づき町が認定した農業者数（経営体数）	12 経営体 [321 戸] (R7 調査)	13 経営体 (R12) [1 経営体増/5 年]
認定新規就農者数及び親元就農研修者数	農業経営基盤強化促進法に基づき町が認定し新たに農業を始めた者又は親元就農促進支援交付金事業の研修計画を承認された研修生の数	4 経営体 [内親元就農 3] (R2.10月～R7.9月)	5 経営体/5 年 (R7.10月～R12.9月)
農地の集積率	地域の全耕作面積のうち担い手が利用する農地面積	38.30% (R6)	40% (R12)
繁殖和牛の増頭	繁殖和牛の飼養頭数	431 頭 (R6)	480 頭/年度

Ⅲ 基本計画

2 地域産業を育むまち

指標	指標説明	現状	目標
和牛出荷頭数	年間の町内業者が出荷した和牛の頭数	328 頭 (R6)	360 頭/年度
自給飼料の増産	自給飼料の生産面積	58ha (R6)	63ha (R12)
人工林の拡大	荒廃した林地を整備した人工林の面積	80,000 m ² (R6)	90,000 m ² /年度
森林管理について意向調査の実施	森林経営管理制度に基づく意識調査	5 地区 (R7)	10 地区 (R12)
宿泊者数	町内宿泊施設に宿泊した者の数	92,899 人 (R6)	160,000 人 (R12)
宿泊者数（外国人）	町内宿泊施設に宿泊した者のうち外国人の数	4,445 人 (R6)	15,000 人 (R12)
観光客入込客数	町内の観光地を訪れた観光客の数	635,932 人 (R6)	700,000 人 (R12)
商店数	町内の卸売業、小売業の数	62 店舗 (R6)	62 店舗 (R12)
卸売業、小売業の従業者数	町内の卸売業、小売業の従業員数	217 人 (R3 経済センサス)	217 人 (R8 経済センサス)
年間商品販売額	年間の卸売業、小売業の商品販売額	3,400 百万 (R3 経済センサス)	3,400 百万 (R8 経済センサス)
新規起業事業者数	町内で起業した事業者の数	9 事業者 (R3～R7 年度)	10 事業者/5 年
（うち町認定事業者数）	町認定者（特定創業支援証明書発行件数）	1 件 (R6)	2 件/5 年
支援相談件数	町内事業者から商工会への補助金等の支援相談件数	1,822 件 (R6)	2,200 件/年度
町内総生産	町内で生産された最終的な財貨やサービスの付加価値の総額	283 億円 (R4)	329 億円 (R9)
町内事業所の従業者数	町内の事業所の従業者数	1,827 人 (R3 経済センサス)	1,827 人 (R8 経済センサス)
新規企業誘致件数	計画期間中に誘致した企業数	0 件 (R3～R6 年度)	1 件/5 年

関連計画等

- ・ 伯耆町農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- ・ 伯耆町農業振興地域整備計画
- ・ 地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）